

## 八戸学院大バスケット部主催「サマーキャンプ」

八戸

八戸学院大バスケットボール部主催の「第5回八戸学院大サマーキャンプ」が22、23の両日、八戸学院光星高体育館などで開かれた。全国大会常連校の藤枝明誠高(静岡県)をはじめとする県内外の高校や団体計13チームが練習試合を繰り返して、普段見られない他チームのプレーに刺激を受けながら、技術の向上にいそしんだ。(佐藤雄)

### 13チームが練習試合

リブルやシュートも多く見られ、休憩中は他チームの試合を熱心に観戦する選手

同大や関連高などの技術向上を目的に毎年開催。地域の子どもたちに、バスケットボールに興味を持ってもらい、競技の普及につなげたいとの思いから試合を公開している。

5回目を迎え、徐々に参加希望の団体が増えており、今回は6道県から強豪が集結。地元の旅館やホテルから宿泊場所の確保などの協力も多くあり、実現できたという。主催する同部のヘッドコーチで、八戸市バスケットボール協会の普及強化委員長を務める橋勇佑さんは「今後も続け、より濃いものにしていく」と話す。

今回は男女ごとに分かれ、試合を実施。高度なドリブルやシュートも多く見られ、休憩中は他チームの試合を熱心に観戦する選手の姿も多くあった。

八戸学院光星高女子バスケットボール部2年の小泉賀南さん(17)は「ディフェンスの切り替えの速さなど、光星にはない強さを持つチームと戦えて良い経験になった。学んだことを仲間と共有し、レベルアップしたい」と力強く語った。

# 強豪集結 スキルアップ



技術向上を目指し、普段接する機会の少ないチーム同士と戦う選手